

R5 開始

14 喜多方市（福島県）

～主な品目～
水稻

実施体制

喜多方市環境にやさしい農業推進協議会
 [構成員]

J A、認定農業者協議会、指導農業士会、観光物産協会、
 地元量販店、農業共済組合、土地改良区連絡協議会、
 県農林事務所、農業委員会、喜多方市等

面積情報

有機農業取組面積：44ha 耕地面積に占める割合：0.5 %
 （令和3年度時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大 R4年度 46ha → R10年度 51ha

2 有機農業を拡大していく上での課題

県内で最も有機農業が盛んな地域である喜多方市は、東日本大震災による原子力災害の影響により、消費者の買い控えによる有機農産物の販路の減少に伴い有機農業の取組が減少し、未だに以前の作付面積までには回復していない状況のため、新たな販路の確保や地域資源を活用した土づくりなどの生産技術等の継承が課題となっている。

拡大をはばむ雑草の紹介

- ・ノビエ ・コナギ
- ・オモダカ・クログワイ
 （6～8月）

【対策】トロトロ層の形成、紙マルチ、機械除草、
 アイガモ除草、深水管理



▲コナギ発生ほ場

3 課題に対する取組のポイント・成果

①有機農業セミナーの実施（農業者）

有機農業及び環境保全型農業直接支払交付金に取り組む農業者を対象に有機農産物の販路拡大に向け、消費者動向やブランディング、物流についてのセミナーを実施

②県外イベントへの出展（農業者・消費者）

有機農産物に対する消費者の認知度の向上や販売機会の拡大を図るため、友好都市である市川市、東大和市のイベントに出展

【取組による定量的な成果】

県外イベントへの出展 R4：0件 → R5：2件

ポイントとなる導入技術

ほ場条件や生産者の経営面積に合わせた除草・抑草方法の選択
 （水田除草機、紙マルチ栽培など）



▲乗用型水田除草機による除草

4 主な取組内容

①生産

- ・新たな担い手確保のための支援、有機農業栽培技術の向上のための支援
- ・スマート農業・省力化技術導入のための支援、有機資源活用の促進

②加工・流通

- ・実需者とのマッチング支援、多様な販売チャネルの創出に向けた支援
- ・販路拡大に向けた、消費者動向やブランディング、物流セミナーの開催
- ・認知度向上に向けた、県外イベントへの出展



▲イベント出展

③消費

- ・マルシェ・イベント等への出展、「田んぼの生き物調査」の実施
- ・学校給食等での有機農産物の活用推進、SNS・HP等を活用した情報発信、温室効果ガス削減の「見える化」の取組



▲有機資源活用パンフレット



▲田んぼの生きもの調査